

全連

高知で全国大会を開催

振興方策や安全衛生活動テーマに

(公社)全国産業廃棄物連合会(石井邦夫会長)

をテーマに議論を深めた。

冒頭のあいさつで石井会長は、「1970

年に廃棄物処理法が制定され誕生したこの業

界は、2020年に50年を迎える。その間、

当連合会は、事業者責

任の強化と優良産業廃棄物処理業者認定制度

の普及等により、良質

が悪質を駆逐する構造

へと転換を進めてき

た。さらなる業界振興

には、従業員の労働安

全衛生の向上が不可欠のため、今回、初めて一部形式の労働安全衛

生セッションを開催す

る」と語った。

続いて、17年度「循環型社会形成推進功労

者等環境大臣表彰」が

行われ、産業廃棄物関

係事業功労者分として

24人が受賞した。

基調講演には、「産

業の振興方策に関する

検討会」の座長を務め

た細田氏は、検討会で

取りまとめた提言(環境省・5月発表)を解説。

「産業廃棄物処理

業は、社会経済システ

ムに不可欠なインフラ

である」と強く訴えた。

ヨンでは、「労働安全

講演・事例発

表会では、労働災害の防止対策について、▽高

知労働局労働基

準部健康安全課

長・島本和明氏

▽田中石灰工業

・田村慎治執行役員部

長▽同連合会安全衛生

委員会委員・長谷川滋

氏――が登壇した。

環境大臣表彰の受賞者



市の三翠園で「第16回産業廃棄物と環境を考える全国大会」を開催した。(公財)日本産業廃棄物処理振興センター

開催。今年度から3年間取り組む「労働災害防止計画」について、安全衛生活動の見直し

共催で、約540人が参加。今年度から3年

の普及等により、良質

が悪質を駆逐する構造へと転換を進めでき

た。さらなる業界振興には、従業員の労働安

全作業」は、労働災害防止計画の実現に向けた「ヒヤリで落んだ心に刻んで



石井邦夫会長